



平成 24年 3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 24年 2月 2日

上場会社名 **小野薬品工業株式会社** 上場取引所 大阪・東京 各第一部
コード番号 4528 URL(<http://www.ono.co.jp/>)

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)相良 暁
問合せ先責任者 (役職名)常務執行役員広報室長 (氏名)森本 公也 TEL(06)6263-5670
四半期報告書提出予定日 平成24年 2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 24年 3月期第3四半期の連結業績(平成 23年 4月 1日～平成 23年 12月 31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	112,785	11.0	33,418	22.5	35,888	19.9	17,674	△7.0
23年3月期第3四半期	101,609	△4.4	27,280	△21.0	29,920	△19.5	19,007	△22.7

(注) 包括利益 24年 3月期第3四半期 16,881百万円(16.3%) 23年 3月期第3四半期 14,519百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	166.71	—
23年3月期第3四半期	174.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	421,719	391,363	92.1	3,662.23
23年3月期	424,442	394,572	92.1	3,685.23

(参考) 自己資本 24年 3月期第3四半期 388,267百万円 23年 3月期 390,712百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	90.00	—	90.00	180.00
24年3月期	—	90.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	90.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 24年 3月期の連結業績予想(平成 23年 4月 1日～平成 24年 3月 31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	145,400	7.5	36,200	2.8	38,400	2.3	18,800	△22.4	177.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年 3月期3Q	117,847,500株	23年 3月期	120,847,500株
24年 3月期3Q	11,828,186株	23年 3月期	14,826,407株
24年 3月期3Q	106,020,135株	23年 3月期3Q	108,623,952株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) その他の注記事項	11
4. 補足情報	12
(1) 主な製品の売上高と予想	12
(2) 海外売上高	13
(3) 開発品の進捗状況	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比増減
売上高	101,609	112,785	11,176 (11.0%)
営業利益	27,280	33,418	6,138 (22.5%)
経常利益	29,920	35,888	5,967 (19.9%)
四半期純利益	19,007	17,674	△1,332 (△7.0%)

・売上高 前年同期比112億円(11.0%)増の1,128億円

主な製品では、2型糖尿病治療剤「グラクティブ錠」、癌化学療法に伴う悪心・嘔吐治療剤「イメンドカプセル」などが引き続き売上を牽引しました。

一方で、糖尿病性神経障害治療剤「キネダック錠」、気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤「オノンカプセル」等は、引き続き潜在患者さんにお使い頂けるよう情報提供活動に努めたものの、後発品の影響などから売上は減少となりました。

なお当期は新製品として、7月に、アルツハイマー型認知症治療剤「リバスタッチパッチ」を、9月には、4週に1回服用する骨粗鬆症治療剤「リカルボン錠50mg」、冠動脈CTにおける描出能改善剤「コアベータ静注用12.5mg」を、12月には、「イメンドカプセル」のプロドラッグ体である「プロイメンド点滴静注用150mg」を発売し、これらの新製品は着実に売上を伸ばしています。

以上の結果、当第3四半期は前年同期比112億円(11.0%)増の1,128億円となりました。

・営業利益 前年同期比61億円(22.5%)増の334億円

売上原価については、売上高の増加や、原価率の高い新製品の売上比率上昇により、前年同期比38億円増加しました。

また販売費及び一般管理費については、新製品発売に伴う営業関連費用が増加したほか、コンピュータ関連費用の増加などにより前年同期比12億円増加となりました。

これらにより営業利益は、前年同期比61億円(22.5%)増の334億円となりました。

・経常利益 前年同期比60億円(19.9%)増の359億円

営業外収支は、金利収入の低下などから2億円減少して25億円となり、経常利益は前年同期比60億円(19.9%)増の359億円となりました。

・四半期純利益 前年同期比13億円(7.0%)減の177億円

保有株式等に関わる投資有価証券評価損の計上などから、特別損益は前年同期比39億円減少しました。また、来年度以降の税制改正の影響による実効税率の低下から繰延税金資産を取り崩したことなどで、法人税等が前年同期比34億円増加しました。

以上により、四半期純利益は前年同期比13億円(7.0%)減の177億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第3四半期末	増減
総資産	424,442	421,719	△2,723
純資産	394,572	391,363	△3,209
自己資本比率	92.1%	92.1%	—
1株当たり純資産	3,685円23銭	3,662円23銭	△23円00銭

総資産は前期末に比べ27億円減少して4,217億円となりました。

流動資産は、売掛金が前期末に比べ89億円増加した事などから111億円増加し、2,025億円となりました。

固定資産は、投資有価証券が前期末に比べ158億円減少したことなどから、139億円減少し2,192億円となりました。投資有価証券の減少は、投資有価証券に計上していた債券について、投資期間経過に伴い、償還までの期間が12月末で1年以内となった債券を有価証券に振り替えた事などによります。

負債は、前期末に比べ5億円増加して304億円となりました。

純資産は、前期末に比べ32億円減少し3,914億円となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減
現金及び現金同等物期首残高	72,097	82,577	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,299	11,338	△5,960
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,488	13,782	9,293
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,690	△18,555	3,134
現金及び現金同等物に係る換算差額	△67	△41	26
現金及び現金同等物の増減額	29	6,523	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	72,126	89,101	—

営業活動により獲得したキャッシュ・フローは、113億円の収入（前年同期比60億円収入の減少）となりました。法人税等の支払額141億円、売上債権の増加額89億円などのキャッシュの減少要因があった一方で、税金等調整前四半期純利益318億円などのキャッシュの増加要因がありました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、138億円の収入（前年同期比93億円収入の増加）となりました。主な内訳としては、有形固定資産の取得による支出が16億円あった一方で、有価証券及び投資有価証券の取得と償還で差し引き163億円の収入がありました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、186億円の支出（前年同期比31億円支出の減少）となりました。これは、主に配当金の支払によるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は、前連結会計年度末に比べて65億円増加し、891億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の予想について、平成23年11月2日に公表した業績予想を、下記の通り修正します。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想 (A) (前年同期比)	145,400 (7.5%)	36,200 (2.8%)	38,400 (2.3%)	21,000 (△13.3%)	198円08銭
今回修正予想 (B) (前年同期比)	145,400 (7.5%)	36,200 (2.8%)	38,400 (2.3%)	18,800 (△22.4%)	177円33銭
増減額 (B-A)	0	0	0	△2,200	
増減率 (%)	0%	0%	0%	△10.5%	
(参考) 前年通期実績	135,255	35,200	37,541	24,222	223円88銭

売上高、営業利益、経常利益につきましては、前回公表値から変更ありません。

当期純利益につきましては、法人税率引下げに関連する法律が公布されたことに伴い、繰延税金資産の取り崩し(約20億円)を見込んだことや、当第3四半期と同額の特別損益を見込むことにより利益が従来予想比約3億円減少することなどから、前回公表の予想値を修正いたします。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,445	20,007
受取手形及び売掛金	36,704	45,593
有価証券	103,524	104,819
商品及び製品	7,859	10,459
仕掛品	1,719	1,865
原材料及び貯蔵品	3,468	2,816
その他	15,657	16,942
貸倒引当金	△9	△4
流動資産合計	191,370	202,500
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	65,245	66,096
減価償却累計額	△42,703	△43,684
建物及び構築物 (純額)	22,542	22,412
機械装置及び運搬具	15,633	15,708
減価償却累計額	△13,586	△13,933
機械装置及び運搬具 (純額)	2,046	1,774
土地	22,551	22,551
建設仮勘定	657	178
その他	10,089	9,831
減価償却累計額	△9,271	△8,972
その他 (純額)	817	859
有形固定資産合計	48,616	47,776
無形固定資産		
その他	955	928
無形固定資産合計	955	928
投資その他の資産		
投資有価証券	167,953	152,111
その他	15,552	18,410
貸倒引当金	△4	△8
投資その他の資産合計	183,501	170,513
固定資産合計	233,072	219,218
資産合計	424,442	421,719

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,324	4,040
短期借入金	1	1
未払法人税等	7,422	7,220
引当金	5,681	3,873
その他	7,767	11,220
流動負債合計	26,198	26,356
固定負債		
長期借入金	12	11
退職給付引当金	454	1,196
その他の引当金	124	81
資産除去債務	52	52
その他	3,028	2,656
固定負債合計	3,672	3,998
負債合計	29,870	30,355
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,358	17,358
資本剰余金	17,079	17,079
利益剰余金	435,536	419,101
自己株式	△74,219	△59,201
株主資本合計	395,754	394,338
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,162	2,816
土地再評価差額金	△8,938	△8,577
為替換算調整勘定	△266	△310
その他の包括利益累計額合計	△5,042	△6,071
少数株主持分	3,860	3,096
純資産合計	394,572	391,363
負債純資産合計	424,442	421,719

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	101,609	112,785
売上原価	17,931	21,754
売上総利益	83,677	91,031
販売費及び一般管理費		
研究開発費	31,880	31,775
その他	24,516	25,837
販売費及び一般管理費合計	56,397	57,612
営業利益	27,280	33,418
営業外収益		
受取利息	1,018	845
受取配当金	1,582	1,672
その他	470	445
営業外収益合計	3,071	2,963
営業外費用		
支払利息	0	0
寄付金	210	300
その他	220	194
営業外費用合計	430	494
経常利益	29,920	35,888
特別利益		
負ののれん発生益	—	272
特別利益合計	—	272
特別損失		
投資有価証券評価損	210	3,890
投資有価証券売却損	—	490
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	28	—
特別損失合計	239	4,381
税金等調整前四半期純利益	29,681	31,779
法人税等	10,500	13,874
少数株主損益調整前四半期純利益	19,181	17,904
少数株主利益	174	229
四半期純利益	19,007	17,674

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	19,181	17,904
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,589	△1,341
土地再評価差額金	—	360
為替換算調整勘定	△69	△43
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	1
その他の包括利益合計	△4,662	△1,022
四半期包括利益	14,519	16,881
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,357	16,645
少数株主に係る四半期包括利益	161	235

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	29,681	31,779
減価償却費	2,249	2,204
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△88	741
受取利息及び受取配当金	△2,600	△2,518
支払利息	0	0
投資有価証券評価損益(△は益)	210	3,890
売上債権の増減額(△は増加)	△9,319	△8,889
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,708	△2,094
仕入債務の増減額(△は減少)	1,834	△1,253
その他	4,466	△1,122
小計	28,139	22,736
利息及び配当金の受取額	2,814	2,675
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△13,653	△14,073
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,299	11,338
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△26,150	△22,603
有価証券の売却及び償還による収入	46,749	53,370
有形固定資産の取得による支出	△977	△1,615
投資有価証券の取得による支出	△14,820	△14,889
投資有価証券の売却及び償還による収入	10	466
その他	△323	△945
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,488	13,782
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△0	△0
自己株式の取得による支出	△2,664	△6
配当金の支払額	△19,021	△18,544
少数株主への配当金の支払額	△3	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,690	△18,555
現金及び現金同等物に係る換算差額	△67	△41
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	29	6,523
現金及び現金同等物の期首残高	72,097	82,577
現金及び現金同等物の四半期末残高	72,126	89,101

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社グループは、「医薬品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年4月6日開催の取締役会決議に基づき、平成23年4月13日付で300万株の自己株式を消却いたしました。これにより、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ15,025百万円減少しております。

(7) その他の注記事項

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
<p>・当第3四半期連結累計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。</p> <p>・当社は、平成23年4月1日付で、会社経営の安定化をはかるために、退職給付制度の改定を行いました。 この制度の改定は、給付利率の見直しを主な内容としており、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理(企業会計基準適用指針第1号)」を適用しております。 この改定により退職給付債務が3,697百万円減少し、これに伴い発生した過去勤務債務は、発生時より1年間で退職給付費用の控除として処理しております。</p>

4. 補足情報

(1) 主な製品の売上高と予想

(単位：億円)

製品名	累計実績				前年同期比		通期目標	
	4～6月	7～9月	10～12月		増減額	増減率	金額	増減率
オパルモン錠	101	100	111	312	▲3	▲0.8%	390	▲2.7%
グラクティブ錠	62	66	80	208	+143	+218.6%	260	+134.0%
オノンカプセル	52	36	51	139	▲8	▲5.3%	180	▲16.4%
キネダック錠	31	29	31	90	▲15	▲14.4%	115	▲12.9%
フオイパン錠	27	25	29	81	▲6	▲6.7%	100	▲8.7%
オノンドライシロップ	19	14	25	57	▲7	▲11.3%	80	▲6.4%
イメンドカプセル	16	16	19	50	+16	+44.7%	65	+37.0%
ステーブラ錠	16	14	17	46	+4	+8.3%	65	+11.2%
注射用エラスポール	11	10	13	34	▲5	▲13.4%	47	▲5.6%
注射用オノアクト	9	8	10	27	▲1	▲4.9%	38	+7.0%
リカルボン錠	5	8	11	24	+9	+60.2%	40	-
リカルボン錠1mg	(5)	(5)	(4)	(15)	(▲0)	(▲1.5%)	(22)	(+12.8%)
リカルボン錠50mg	(-)	(2)	(7)	(9)	平成23年9月発売		(18)	(-)
リバスタッチパッチ	-	4	4	8	平成23年7月発売		13	-

(注) 「リバスタッチパッチ」の通期目標を7億円から13億円に変更しました。

(2) 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

	欧州	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	347	2,385	26	2,759
II 連結売上高(百万円)				101,609
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	0.3	2.4	0.0	2.7

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……イタリア、ドイツ、オランダ等

(2) アジア……韓国、台湾

(3) その他の地域……メキシコ等 (※)

(※) 昨年2月2日に発表しました平成23年3月期第3四半期累計期間の決算資料(短信)では、アメリカ等と記載されておりましたが、これはメキシコ等の誤りでした。

3 海外売上高は、当社の輸出高(特許権等使用料収入を含む)であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

	欧州	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	1,766	1,854	47	3,668
II 連結売上高(百万円)				112,785
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	1.6	1.6	0.0	3.3

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……スイス、イタリア、ドイツ等

(2) アジア……韓国、台湾

(3) その他の地域……メキシコ等

3 海外売上高は、当社の輸出高(特許権等使用料収入を含む)であります。

(3) 開発品の進捗状況

平成24年2月2日現在

1. 国内開発品状況
 <承認取得開発品>

製品名/開発コード	区分	効能/薬理作用	剤型	
オノンドライシロップ※1 (ONO-1078)	効能追加	アレルギー性鼻炎 /ロイコトリエン受容体拮抗作用	ドライシロップ	自社

平成24年3月期第2四半期決算発表(11月2日)時点からの変更点

※1:気管支喘息治療剤「オノンドライシロップ(ONO-1078)」は、平成23年12月22日付でアレルギー性鼻炎に関する効能追加の製造販売承認を取得しました。

<申請中開発品>

製品名/製品名候補/開発コード	区分	予定効能/薬理作用	剤型	
イメンドカプセル (ONO-7436)/MK-0869	小児での効能追加	抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐 /ニューロキニン1受容体拮抗作用	カプセル	導入 (米メルク社)

<臨床試験中開発品>

製品名/製品名候補/開発コード/一般名	区分	予定効能/薬理作用	フェーズ	剤型	
グラクティブ錠 (ONO-5435)/MK-0431	効能追加	2型糖尿病(速効型インスリン分泌促進薬との併用療法)/DPP-4阻害作用	Ⅲ	錠	共同 (米メルク社)
ONO-4164SC /BMS-188667SC	剤型追加	関節リウマチ/T細胞活性化抑制作用	Ⅲ	注射	共同 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社)
注射用オノクト (ONO-1101)	効能追加	心機能低下例における頻脈性不整脈 /β ₁ 遮断作用(短時間作用型)	Ⅱ/Ⅲ	注射	自社
ONO-7165 /EMD531444	新有効成分	非小細胞肺がん /腫瘍抗原MUC-1由来ペプチドワクチン	Ⅱ	注射	共同 (独メルク社)
ONO-4641	新有効成分	多発性硬化症/S1P受容体作動作用	Ⅱ	錠	自社
ONO-3849 /Methylnaltrexone bromide	新有効成分	オピオイド鎮痛薬の使用に伴う難治性便秘/ μ オピオイド受容体拮抗作用	Ⅱ	注射	導入 (プロジェニックス社)
ONO-7643 /RC-1291	新有効成分	がん悪液質/グレリン様作用	Ⅱ	錠	導入 (ヘルシン社)
ONO-2745 /CNS 7056	新有効成分	全身麻酔/GABA _A 受容体作動作用 (短時間作用型)	Ⅱ	注射	導入 (パイオン社)
オバルモン錠 (OP-1206)	効能追加	手根管症候群/血管拡張作用	Ⅱ	錠	共同 (大日本住友製薬)
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	悪性黒色腫/完全ヒト型抗PD-1抗体	Ⅱ	注射	自社
ONO-7057 /Carfilzomib	新有効成分	多発性骨髄腫/プロテアソーム阻害作用	I/Ⅱ	注射	導入 (オニキス社)
ONO-5334	新有効成分	骨粗鬆症/カテプシンK阻害作用	I	錠	自社
ONO-3951 /Asimadoline	新有効成分	過敏性腸症候群 /κオピオイド受容体作動作用	I	錠	導入 (タイオガ社)
ONO-6950	新有効成分	気管支喘息 /ロイコトリエン受容体拮抗作用	I	錠	自社
ONO-7056※2 /Salirasib	新有効成分	固形がん/Rasシグナル阻害剤	I	錠	導入 (コンコルディア社)

平成24年3月期第2四半期決算発表(11月2日)時点からの変更点

※2:Rasシグナル阻害剤「ONO-7056/Salirasib」は、フェーズⅠ試験を開始しました。

2. 国外開発品状況
<臨床試験中開発品>

製品名／製品名候補 ／開発コード	区分	予定効能／薬理作用	フェーズ	剤型	
ONO-5334	新有効成分	骨粗鬆症／カタペシンK阻害作用	II	錠	自社
ONO-4641	新有効成分	多発性硬化症／S1P受容体作動作用	II	錠	導出 (独メルク社)
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	腎細胞がん／完全ヒト型抗PD-1抗体	II	注射	導出 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社)
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	C型肝炎／完全ヒト型抗PD-1抗体	I	注射	導出 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社)
ONO-7746	新有効成分	血小板減少症 ／トロンボポエチン受容体作動作用	I	カプセル	導入 (日産化学工業)
ONO-6950	新有効成分	気管支喘息 ／ロイコトリエン受容体拮抗作用	I	錠	自社
ONO-2952	新有効成分	過敏性腸症候群／TSPO(トランスロ ケータープロテイン)拮抗作用	I	錠	自社
ONO-4053	新有効成分	アレルギー性鼻炎／プロスタグランディ ンD2受容体拮抗作用	I	錠	自社
ONO-9054※3	新有効成分	緑内障・高眼圧症／プロスタグランディ ン受容体(FP/EP3)作動作用	I	点眼	自社

平成24年3月期第2四半期決算発表(11月2日)時点からの変更点

※3: プロスタグランジン受容体(FP/EP3)作動薬である「ONO-9054」は、フェーズI試験を開始しました。